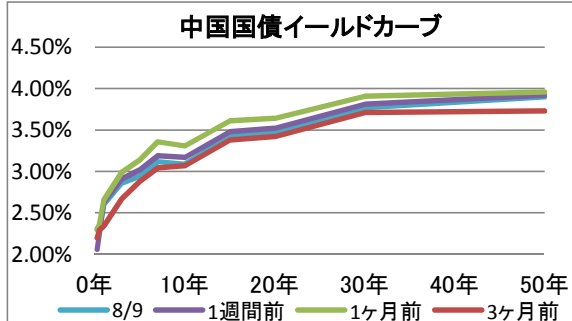
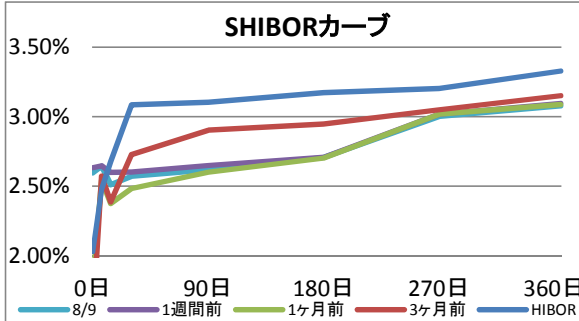


①市場概況

基準レート		2019/8/9	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.0136	0.1140
	JPY/CNY	6.6297	0.2118
SHIBOR	3M	2.6180%	-0.0310%
国債利回り	10年	3.02%	-0.07%
上海総合指数		2,774.75	-93.09



(1) 概況

ドル人民元が週初に7を上回る上昇となったことから、中国政府が米国の追加関税への対抗策として人民元安を容認したとの認識が広がり、さらに国有企業に米国からの穀物輸入停止を要請していることが伝わるとリスクオフの状況が一段と強くなり、米国時間に中国が為替操作国に認定されると米中関係の更なる悪化への懸念から、株式市場は大幅下落となって、債券利回りも一段と低下する展開となった。その後は日々の人民元基準レートが元高水準に保たれていることもあって、米中高官の発言に注意しながらも冷静さを取り戻しつつあるように見受けられる。

中国では共産党の重要事項が協議されるといわれる北戴河会議が始まったと報道されており、米中関係に加え、香港でのデモ等への中国共産党の対応に注目が集まっている。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日がなく、金融市場内の資金も十分として、新規リバースオペを見送っている。なお、3回目となるCBS（銀行発行永久債と中銀手形の交換）を50億元、期間3ヶ月で募集している。

(3) 主な経済指標

- ・CPI (7月) は、前年比+2.8% (6月+2.7%) と食料品価格を主因に上昇を続け、前月比でも前月のマイナスからプラスに転じている。
- ・PPI (7月) は、前年比△0.3% (6月+0.0%) と2016年以来のマイナスとなり、前月比でも△0.2%と2ヶ月連続でマイナスとなった。原材料価格の大幅な低下が主因。
- ・貿易収支 (7月) は、輸出が前年比+3.3% (前月△1.3%) と米国以外への輸出拡大を主因に予想外の増加に転じ、輸入も同△5.6% (前月△7.3%) と予想を下回る減少に止まっている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.5960%	2.6000%	2.6000%	
1W	2.6440%	2.6000%	2.6400%	2.3500%
2W	2.5120%	2.3000%	2.5000%	
1M	2.5710%	2.7000%	2.4800%	2.4000%
3M	2.6180%	4.0000%	2.6500%	2.6600%
6M	2.7060%	3.5200%		2.9200%
9M	3.0020%			2.9800%
12M	3.0785%			3.0400%

7月に長めの資金供給が実施されていたことから銀行システム内の資金は充足されており、ビッドサイドが少なく、金利水準も小幅ながら一段と低下している。特にターム物のビッドは少なく、週末が近づくにつれ資金需給がやや引き締まると出し手が慎重になって引き続き出合いは限定的。

NCD市場も、引き続き長めの期間への投資需要が強く、金利水準も低位で安定している。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	SHIBOR	無担保資金
ON	2.15%	2.19%
1W	2.23%	2.28%
1M	2.40%	2.45%
3M	2.60%	2.70%
6M	2.75%	2.85%
12M	2.85%	3.00%

米ドル金利は低位で安定しており、1ヶ月ものが2.4%を下回る水準で大きく出合っているものの、それ以外のターム物の出合いは限定的な状況が続いている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.32%	2.43%	2.62%	2.73%	3.14%
6M	2.39%	2.50%	2.79%	2.90%	3.31%
1Y	2.57%	2.68%	2.96%	3.05%	3.57%
3Y	2.78%	3.11%	3.37%	3.39%	3.97%
5Y	2.91%	3.27%	3.58%	3.75%	4.56%
10Y	3.02%	3.56%	4.06%	4.24%	5.30%

米中関係悪化懸念や景気減速を背景に世界的に債券利回りが低下していることや、海外からの資金流入もあって中国の債券利回りも低下を続けている。中国国内の債券利回りの低下は、国債の低下幅が相対的に大きく、信用債では前週の短期債から中期債まで拡大したことから、イールドスプレッドは国債で一段とフラットニングが進み、信用債でも中期までの期間でフラットニングする一方で長期ではスティープ化が一段と進み、クレジットスプレッドは長期で大幅に拡大することとなった。

中国証券業監督管理委員会は、証券取引所に上場されている債券の売買を大手銀行にも認める市場開放政策を発表している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	5.0 / 5.5
1M	22.0 / 25.0
3M	60.0 / 65.0
6M	120.0 / 133.0
9M	190.0 / 218.0
12M	288.0 / 295.0

対ドル基準値は7.0136と前週末比+1140pipsのドル高元安、対円基準値は6.6297と同+2118pipsの円高元安と、米国による追加関税導入を契機とした元安が一段と進んでいる。国内スポット市場では一時7台を大幅に上回るドル買い人民元売りが見られたものの、中国政府の政策意図が反映されているといわれる日々の基準値設定が緩やかな元安に止まっていることから落ち着きを取り戻しつつある。

スワップ幅は、大幅なドル買いが入ったことやドル金利の低下により引き続き大幅に拡大している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.56%		2.33%
6M	2.56%	2.72%	2.27%
9M	2.56%	2.77%	2.23%
1Y	2.57%	2.82%	2.23%
3Y	2.65%	3.01%	2.28%
5Y	2.79%	3.19%	
7Y	2.95%	3.35%	
10Y	3.10%	3.51%	

短期の基準金利が引き続き小幅ながら低下しており、債券利回りも低下を続けたことから、前週から低下に転じていた金利スワップのレート水準は一段と低下している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。